



日本共産党 品川区議会議員 区政報告

のだて 稔史

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せ下さい。

補聴器購入費補助など

高齢者の聞こえづらさに公的支援を

6月27日の区議会本会議で補聴器購入費補助など加齢性難聴者への公的支援を求めました。

加齢性難聴の危険性

65歳以上の高齢者の約半数に難聴があると推計されており、品川区では4万人を超えることになり、多くの方の深刻な悩みです。

加齢性難聴は言葉の聞き分けに必要な高音から聞こえにくくなるため会話に支障をきたすようになります。加齢性難聴はコミュニケーションの障害でもありません。聞こえない状



態が続くと音は聞こえるが言葉が理解できなくなり、認知機能が低下し、コミュニケーションにも支障が出て、会話に入らず社会的に孤立すること、認知症や鬱のリスクも高まります。

聞くということは単に音として聞くだけではなく、聞いた言葉から脳は「うれしい」「かなしい」などの感情を抱いたり、考えて言葉で返したりします。こうした刺激が少なくなり、認知機能の低下を招くと考えられています。

補聴器の早期着用で

“聞こえ”の改善を

改善のためには早期の補聴器着用が効果的です。進行してからでは十分な改善が得られません。

しかし、日本では補聴器着用が進んでいません。

海外では医療の問題として位置づけられ負担が少なくなっています。

ウラへつづく

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、33歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。ジブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

23区の補聴器への支援

自治体	対象年齢	本人負担
中央	65歳以上	35000円を超えた額
新宿	70歳以上	2000円
墨田	65歳以上	20000円を超えた額
江東	65歳以上	なし
大田	70歳以上	20000円を超えた額
豊島	65歳以上	20000円を超えた額
葛飾	65歳以上	35000円を超えた額
江戸川	65歳以上	20000円を超えた額

補聴器は片耳で4万円から30万円もの高額です。両耳になればその倍。年金暮らしの高齢者には高く手がでません。日本では補聴器への補助は障害者手帳を持つ重度の難聴者に限られています。23区では既に8区が補助などを行っています。また、補聴器を着用した後の調整も重要です。補聴器に慣れていないと「自分の声がうるさい」などあるため、しっかりと補聴器を使っていくにはトレーニングと調整が必要です。そうしたことを知らされずに

補聴器を買っても使っていない方が結構いるそうです。品川区でも補助制度をつくり、早期着用や調整などの相談を受けるよう求めましたが、区は「補助制度をつくる考えはない」と否定し、国や都に助成制度を求めることもしないと、早期着用の重要性については答弁さえありませんでした。都議会では早期着用の重要性が都知事から語られました。区の認識の低さに驚きました。公共施設では聞こえづらい人のための磁気ループなどが広がっています。

この間、議会でも取り上げ続け、設置が進んでいます。補聴器購入補助など加齢性難聴者への公的支援を実現するため、引き続きがんばります。

保育・幼児教育無償化条例可決

6月27日の文教委員会で保育・幼児教育無償化条例が示され審議を行い、全会派が賛成し可決されました。

無償化されるのは保育料と預かり保育料の一部です。給食費はこれまで通り実費徴収をしない方向です。認可外や認証への支援も継続される見通しです。

区民の利益になりますが財源を消費税に頼るのはやめるべきです。



▲6月29日、全国肢体障害者交流集会のプレ企画に参加しました。バリアフリーの街をつくらうというテーマで森すぐる交通権学会理事が講演をしました。これまでの障害者運動の歴史を聞き、上野裁判や青い芝の会によるバス籠城事件、国鉄和歌山線格差運賃返還訴訟など障害者の交通権獲得の歴史などを学びました。車椅子の方が普通にバスに乗れないことに驚きました。

無料
7月は休みです
法律相談

8月20日(火) 午後6時～8時
会場：**のだて稔史事務所** 豊町6-2-1
お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。
できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674

